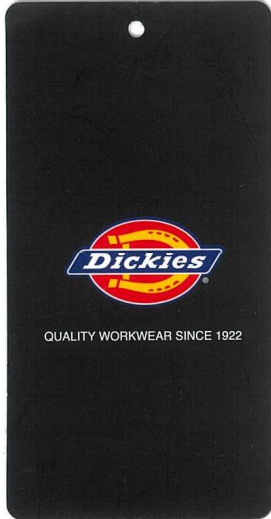


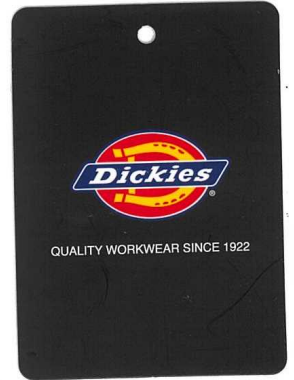
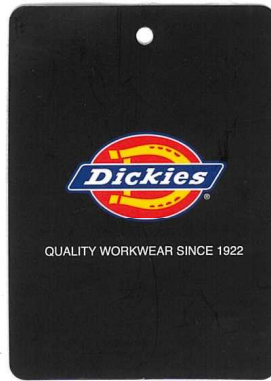
環境教育「まず、今できることから」

歴史に学ぶ

発行所：地域環境活性化協議会
 編集者：代表幹事 高橋 賢一
 連絡先：市民活動支援センター
 尾張旭市渋川町三丁目5番地7
 (渋川福祉センター内)
 TEL 0561-51-2878

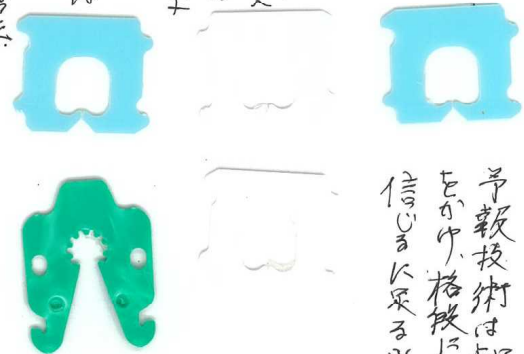


上方落語を盛り上げた爆笑王
 桂枝雀さん時高座に上がる前
 天気予報にひときわ耳を澄ま
 したらしい。外れると、すかさず
 マラカド使った。気象庁の野郎
 大急ぎで延滞されたどうでい
 ざいます。枝雀さんは前世起米
 の歳々若きで世と去らば、
 やり過ぎてしまったかなと氣下で
 お考えをえかもしれない。
 予報が外れて気楽に笑える時代
 にはなかつた。



予報官の使命
 は以前より、予報
 要くなった。ま
 るく7年の九州北
 部豪雨は死者40人
 を数え、翌年の西日
 本豪雨では200人以上
 の命が失われた。
 3年前の熊本では
 水害などで60を
 超す住民が亡くなった。
 いずれも7月に聞かされた
 である。

九州地方は線状降水帯が発
 生する恐れがあると発表し、
 警戒を呼びかけている。
 尾尾険急なのは雨が弱まら
 ないまま、
 タクミンともいわれ、
 河川や池に近づかないよう注意を



予報技術は知恵と資金
 とかけ、格段に進歩している。
 信じるに足る水準である。

